

信州大学のアグリバイオ研究シーズを紹介します！！

- ①オリゴタンニンの化学合成と機能性研究
- ②“藻”を身近に～ロバスト性藍藻の利用技術～

ポイント

信州大学の2つの研究について紹介いたします。

- ・オリゴタンニン（プロシアニジンオリゴマー）の化学合成と機能性の研究
- ・藻類の培養と有用物質の生産に関する研究

信州大学では、生命・食料・環境を基盤とする幅広い視野で、地球規模の諸課題に取り組んでいます。今回は、本学のアグリバイオ分野の2つの研究シーズについて紹介いたします。

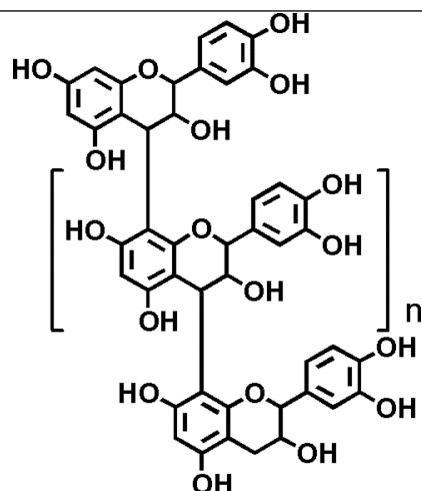
① オリゴタンニンの化学合成と機能性研究

オリゴタンニン（プロシアニジンオリゴマー）は、植物などに大量に存在するものの、純粋な物質として精製することが難しいことが知られています。信州大学農学部では、化学合成により純粋な物質として生産する研究を進めており、ガン抑制効果も発見しております。

② “藻”を身近に～ロバスト性藍藻の利用技術～

藻は、近年バイオ燃料や食品の分野で注目されています。信州大学農学部では、さらに様々な“藻”の価値を見つけるべく、自然に近い環境でも培養可能なロバスト性藍藻の研究を進めています。

高付加価値化を目指し、タンパク質や糖のバイオマテリアルとして可能性や低分子の機能性化合物の探索を行っています。また、環境分野で利用可能なクロロフィルを用いた油脂の分解の技術についても開発しています。



簡易ビニールハウスでの藻類栽培



<展示ブース>

C-74

<出展者プレゼンテーション>

場所：Stage D

時間：12日（金）12：40～13：10

講演者：真壁秀文・伊原正喜

タイトル：信州大学のアグリバイオシーズの紹介

① オリゴタンニンの合成技術 ② ロバスト性藍藻の利用技術

<本件に関する問い合わせ先>

松田 元規

国立大学法人 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

TEL: 0265-77-1648, e-mail: mmatsuda@shinshu-u.ac.jp